2027 年度(令和９年度)修士課程及び専門職学位課程進学予定者に係る特に優れた業績による返還免除内定候補者　申請案内

本制度の概要

返還免除内定候補者になると、修士課程及び専門職学位課程（以下「修士課程等」という。）において貸与を受けた第一種奨学金の全額又は半額が免除される可能性があります。元々、修士課程等にも第一種奨学金の返還免除制度は存在しますが、本制度は入学時点でその権利を得ることができるというものになります。ただし、全額なのか半額なのかは貸与中の業績により修了時に決定します。詳細は本ファイルの４ページを確認してください。

本年度の推薦枠

修士課程	「科学技術イノベーション創出に寄与する分野（情報･AI、量子、マテリアル等）」 **７名** 「大学の強みや地域の強み等を生かした分野」 **５名**
専門職学位課程 （教育学研究科高度教職実践専攻）	「科学技術イノベーション創出に寄与する分野（情報･AI、量子、マテリアル等）」 **１名** 「大学の強みや地域の強み等を生かした分野」 **１名**

本制度の対象者

2027 年度(令和９年度)に修士課程又は専門職学位課程へ進学し、第一種奨学金（授業料後払い制度を含む）の貸与を受ける予定で、以下のいずれも該当する者。（留学生除く。外国籍の学生の場合は「法定特別永住者」、「永住者」、「定住者」、「家族滞在」等のみが対象）

◆ 学部において日本学生支援機構給付奨学金を利用していること（自己都合、支援区分がある学業停止は可、所得理由の停止は不可）又は住民税非課税世帯（本人及び生計維持者の市町村民税所得割額が０円で、本人及び生計維持者の資産の合計額が 5,000 万円未満）であること。※資産超過の停止は対象外

◆ 「科学技術イノベーション創出に寄与する分野（情報・ＡＩ、量子、マテリアル等）」又は「大学の強みや地域の強み等を生かした分野」への進学を希望していること。

◆ 将来、上記分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な能力を備えて活動することができると認められること。

申込から採用までの流れ

（注意）期間内に申込書類の提出及びスカラネット入力を行わなかった場合、申込みは無効です。

STEP１	申込書類を奨学金窓口に提出する （本ファイル２ページの「提出書類」を参照）	2026 年 11 月 16 日（月）～ 11 月 27 日（金） （平日）8：30～17：15【厳守】
STEP2	▼書類提出・書類確認後▼ ID・ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを奨学金窓口から受け取る	2026 年 11 月 16 日（月）～ 11 月 27 日（金）
STEP3	スカラネットに申込内容を入力する （本ファイル 7～8 ページの下書き用紙を参考に）	2026 年 11 月 16 日（月）～ 11 月 29 日（日） 23：00【厳守】

提出書類

以下の書類 1～4 を STEP1 の期間内に下記提出先へ提出してください。（5 は該当者のみ）

1	**確認書** ・本ファイル 5 ページを使用してください。
2	**本人及び生計維持者の令和８年度所得・課税証明書** ・確認書の「確認 3」において「父母 2 名」を選択した場合 ⇒本人及び父母の令和 8 年度所得・課税証明書（3 名分） 確認書の「確認 3」において「ひとり親世帯」を選択した場合 ⇒本人及び父又は母の令和 8 年度所得・課税証明書（2 名分） 確認書の「確認 3」において「本人又は父母以外が生計維持者」を選択した場合 ⇒事前に相談してください ・所得金額、課税額、控除が記載された、記載省略のない証明書(全項目証明)を市区町村の役場に申請して、入手してください。原則、令和 8 年 1 月 1 日現在で住民票登録のあった市町村で発行されます。 ・所得がない場合であっても、非課税証明書等の名称で発行されますので、必ず提出してください。
3	**成績証明書** ・出身大学等の学長又は学部長が作成した**原本**を提出してください。
4	**申請書（手書き不可）**⬇※大学所定用紙 ・本様式は Word 版をダウンロードし、入力後印刷してください。
5	**資産の申告書（給付奨学生では無い学生は提出必要）** ・学生本人及び生計維持者の資産の合計額が 5,000 万円未満であることを確認し、本ファイル 6 ページの「資産の申告書」に記入のうえ提出してください。 ・ただし、学生本人及び生計維持者（父母がいる場合は原則 2 名）の令和 8 年度の課税証明書等により、市区町村民税所得割額が 0 円である必要があります。

◆ 提出していただく書類は、奨学金業務のために利用するものであり他の目的には使用しません。
なお、一旦提出された書類は返却できません。

提 出 先

キャンパス	提出先（問い合わせ先）
松本キャンパス	学生総合支援センター　℡ 0263-37-2199
長野（工学）キャンパス	工学部学務係奨学金窓口　(℡での問い合わせは上記へ)
長野（教育）キャンパス	教育学部学務係奨学金窓口　(　〃　)
伊那キャンパス	農学部学務係奨学金窓口　(　〃　)
上田キャンパス	繊維学部学務係奨学金窓口　(　〃　)

※学外の方はレターパックライトで以下へ郵送してください。（品名に「返還免除内定候補者申請書類」と記入）
〒390-8621　長野県松本市旭 3-1-1　信州大学学生総合支援センター経済支援 G 宛

注意事項

◆ **修士課程等において貸与を受けた第一種奨学金**（授業料後払い制度を含む）**が返還免除対象となり、本制度への申請とは別に第一種奨学金**（授業料後払い制度を含む）**の申請を行う必要があります。**（本制度に申請したことで自動的に第一種奨学金（授業料後払い制度を含む）に申請したことにはなりません）予約採用あるいは修士課程等進学後の在学採用で、第一種奨学金（授業料後払い制度を含む）を申請してください。ただし、本学では予約採用の採用者を優先して推薦する予定です。

◆ 返還免除内定候補者として採用されたことをもって、返還免除が確定するわけではありません。**貸与終了時に改めて「特に優れた業績による返還免除」への申請が必要です。**

◆ 返還免除内定候補者に採用された場合は中間評価があり内定者として相応しい成績を挙げているかどうか確認します。学業成績不振などにより、内定を取り消される場合があります。

◆ 今回の返還免除内定候補者に採用されなかったとしても、貸与終了時の「特に優れた業績による返還免除」に申請することは可能です。今回は 35%の枠のうち、5%分の枠を決定するだけですので、「特に優れた業績による返還免除」の対象となるチャンスがなくなるわけではありません。

◆ 修士課程等において利用した「授業料後払い制度」で受けた奨学金に対しても、第一種奨学金同様に返還免除を受けることができます。但し、授業料後払い制度と第一種奨学金の併用はできません。また、国立大学の場合、貸与総額は第一種奨学金を利用した方が多くすることができ、有利な場合があります。授業料後払い制度についての詳細は学生総合支援センターHP 等でご確認ください。

◆ 貸与終了時の「特に優れた業績による返還免除」に教員になった者を対象とした返還免除制度もあります。貸与期間中に優れた業績を挙げたと認められ、かつ教職大学院又は一定の条件を満たす教職大学院以外の大学院に原則在籍中に教員採用選考試験に合格し、大学院修了の翌年度に免除対象となる学校種の正規教員になるなど、その他必要な要件を全て満たした場合は、大学院在籍中に貸与を受けた第一種奨学金（授業料後払い制度を含む）の返還が全額免除となります。

修士課程・専門職学位課程に進学予定で、
第一種奨学金(授業料後払い制度を含む)の貸与を希望する方へ

特に優れた業績による返還免除内定制度のご案内

特に優れた業績による返還免除制度とは…

大学院で第一種奨学金（授業料後払い制度を含む）の貸与を受けた学生のうち、貸与期間中に特に優れた業績を挙げた者として日本学生支援機構が認定した場合に、奨学金の全額または半額を返還免除する制度です。また、教員になった人は、一定の要件を満たす場合に、奨学金の全額が免除されます。学問分野での顕著な成果や発明・発見のほか、専攻分野に関する文化・芸術・スポーツにおけるめざましい活躍、ボランティア等での顕著な社会貢献等も含めて評価し、学生の学修へのインセンティブ向上を目的としています。
奨学金の貸与終了時に、修了予定の大学院へ申請し、大学から本機構へ推薦される必要があります。

返還免除内定制度とは…

貸与終了時に認定する特に優れた業績による返還免除を、修士課程・専門職学位課程に進学する前に内定する制度です。**進学を予定している大学院を通じて、修士課程等へ進学する前年度に申請します。**
なお、本制度の対象とならない大学もあるため、大学に申請可能であるか確認してください。
（参考）2026年度進学の内定者
修士課程：151大学923人　専門職学位課程：23大学41人

対象要件

以下の**全て**を満たす必要があります。

① 大学学部等において修学支援新制度を利用していること 又は 非課税世帯であること
② 科学技術イノベーション創出に寄与する分野（情報・AI、量子、マテリアル等）又は 大学の強みや地域の強み等を生かした分野への進学を希望していること
③ 将来上記②の分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を備えて活動することができると認められること

選考方法

上記の「対象要件」を満たしていることを大学院において確認したうえで、大学院入試の成績やこれに代わる大学学部の成績等をもとに、文部科学省令で定める各業績について十分な成果を挙げる見込みがある者として、総合的に評価し選考されます。

中間評価

内定者となった場合は 年に1回中間評価があり 内定者として相応しい成績を挙げているかどうか確認します（**学業成績不振などにより、内定を取り消される場合があります**）。

第一種奨学金（授業料後払い制度を含む）の申込みは 別途手続きが必要です。
内定制度の申請をしただけでは 第一種奨学金（授業料後払い制度を含む）は受けられません。
また、入学後６か月以内に第一種奨学生（授業料後払い制度を含む）として採用されなかったときは内定の効力を失いますのでご注意ください。

詳しい情報はこちら
日本学生支援機構ホームページ
https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/gyosekimenjo/index.html

◆◆◆詳細は 進学予定の大学院にお問い合わせください◆◆◆

（2026.09）

独立行政法人
日本学生支援機構
JASSO Japan Student Services Organization

修士課程及び専門職学位課程進学予定者に係る特に優れた業績による返還免除内定候補者

確　認　書

学籍番号 (学外の方は受験番号)		氏名		携帯電話	
			メールアドレス		

確認１：2027年度(令和9年度)に信州大学の修士課程又は専門職学位課程に進学予定ですか？（☑してください）

□　信州大学の修士課程に進学します。	対象者
□　信州大学の専門職学位課程（教育学研究科高度教職実践専攻）に進学します。	
□　信州大学以外（他大学）の修士課程等に進学します。 →進学先の大学に申請方法等について確認してください。	**対象外**

確認２：現在、日本学生支援機構給付奨学生ですか？（☑してください）

□　第Ⅰ区分 □　第Ⅱ区分 □　第Ⅲ区分	□　第Ⅰ区分（多子） □　第Ⅱ区分（多子） □　第Ⅲ区分（多子） □　第Ⅳ区分（多子） □　多子世帯	□　停止中（自己都合） □　停止中（学業）ただし、支援区分がある場合 □　現在申請中（不採用の場合は対象外です）	対象者
□　停止中（所得理由） □　日本学生支援機構給付奨学生ではない		□ 本人・生計維持者の市町村民税所得割額が 非課税(0円)で、資産の合計額が5,000万円未満	
		□ 本人・生計維持者の市町村民税所得割額が 非課税(0円)ではない	**対象外**
□　停止中（資産超過）			

＊ 現在の支援区分をスカラネットパーソナルから必ず確認してください。
＊ 本人・生計維持者の市町村民税の所得割額は令和7年度所得・課税証明書を確認してください。
＊ 給付奨学生でない場合、本人・生計維持者の資産の合計額が5,000万円未満であることを確認してください。

確認3：生計維持者の人数は？（☑してください）

□　父母2名	
□　ひとり親世帯等	□ 父又は母と死別した
	□ 父母の離婚等により、父母いずれかと本人は別生計 ※「離婚等」には、離婚調停中、DVによる別居中、又は未婚の場合なども含みます。
	□ 父又は母が、生死不明、意識不明、精神疾患のため、意思疎通ができない
□　本人又は父母以外が生計維持者	□ 両親と死別した
	□ 両親が、生死不明、意識不明、精神疾患のため、意思疎通ができない
	□ 本人が結婚しており、両親ではなく、本人自身もしくは配偶者が家計を支えている

＊ 生計維持者は父母がいる場合は原則として父母2名です。
＊ 生計維持者を「父母2名」以外とする場合の詳細については以下を確認してください。
https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/kyufu/kakei/seikei_izisha.html

〖大学使用欄〗（学生は記入しない）

受付日		対応者	
不足	なし あり（期限　　） 確認書　所得・課税（本　父　母）　成績証明書　資産の申告書		

	a	b
本人		
生計維持者1		
生計維持者2		

①　②　読

資産の申告書

～修士課程及び専門職学位課程進学予定者に係る特に優れた業績による返還免除内定候補者の推薦について～

届出年月日	

1. 本申告書の提出が必要な者

給付奨学金を受給していない住民税非課税世帯の学生等で、大学院修士課程又は専門職学位課程に進学を予定し返還免除内定制度への申請を希望している者

2. 学生等記入欄

返還免除内定制度の申請を希望する者は以下の太枠内を記入し、本申告書と所得証明書を進学予定先の大学へ提出してください。

基本情報

氏名	
生年月日	
進学予定先大学名	
進学予定先研究科名	

※以下の（1）～（2）のチェックボックスを記入してください。

（1）私と生計維持者（原則父母）の届出日時点の資産額の合計が5,000万円未満である。	☐
資産の対象となるものは現金及びこれに準ずるもの、預貯金並びに有価証券の合計（不動産は対象としない）です。	
（2）私と生計維持者の直近の所得証明書を取得済である。	☐
令和8年度の所得証明書は令和8年1月1日現在住民票登録のあった市区町村役場で発行されます。	

3. 学校記入欄

学生等本人から本申告書と所得証明書を受け取った。	☐
所得証明書で、学生等本人及び生計維持者の市区町村民税所得割が0円であることを確認した。	☐

※要件を満たさない学生等本人を返還免除内定候補者として推薦した場合は、返還免除内定者として認定されません。
※学生等本人から提出された書類は本機構への提出は不要です。各大学において、適切に保管してください。

（26.9）

2027年度進学予定者に係る特に優れた業績による返還免除内定制度　スカラネット入力下書き用紙
（修士課程及び専門職学位課程用）

・進学予定先大学院が指定する申請期間内に申請してください。
・この下書き用紙に記入し、間違いがないことを確認したうえで、以下のURLから日本学生支援機構のスカラネット用ホームページにアクセスして入力してください。
・入力内容を確認し送信した後、申込完了画面で受付番号(在学採用申込みや進学届提出、問い合わせなどの際に必要となります)と入力した内容が表示されます。画面を印刷するなどして保管してください。
※送信した後に内容を訂正することはできません。
・第一種奨学金（授業料後払い制度を含む）の申込みは、別途手続きが必要です。内定制度の申請をしただけでは、第一種奨学金（授業料後払い制度を含む）は受けられません。また、内定者として認定されても入学後6か月以内に第一種奨学生（授業料後払い制度を含む）として採用されなかったときは内定の効力を失いますのでご注意ください。

スカラネット用ホームページ
URL：https://www.sas.jasso.go.jp/
受付時間：8:00~25:00（最終締切日は8:00~24:00）
※受付時間を過ぎると画面が強制終了しますので、余裕をもって入力してください。
※入力中に1つの画面で30分を過ぎると自動的にタイムアウトとなり、最初からやり直しとなりますのでご注意ください。

受付番号メモ欄　こちらに受付番号をメモして保管してください。

								-			G	M	N			-					

←入力完了後に表示される「受付番号」は進学届入力時（2027年4月）に必要ですので、必ずメモをしておいてください。

返還免除内定制度申込用ログイン

進学予定大学院から配付される識別番号（ユーザIDとパスワード）を入力して、
下の「ログイン」ボタンを押してください。

（注）パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。

ユーザID
パスワード

・認証に3度失敗すると、「閉じる」ボタンを押して画面を閉じ、最初からやり直す必要があります。

誓約

入力上の注意：数字及び英字は半角、カタカナは全角で入力してください。

A－誓約欄

日本学生支援機構理事長　殿
返還免除の内定候補者への申請にあたり、正しく記入することを誓約します。
なお、当該課程において返還免除の内定を受けた後、奨学金の貸与開始後、貸与期間が終了する年度に返還免除候補者としての推薦を受けるまでの期間中に、貴機構が定める「廃止」、「停止」又は「警告」に該当するとき、修業年限内で課程を修了（学位を取得）できなくなったとき、文部科学省令第36条第1号～第10号で定める各業績について、十分な成果を挙げる見込みがなくなったと認められたとき、又は、貸与期間終了時における業績優秀者返還免除の申請をしなかったときは、返還免除の内定が取り消されることに同意します。

誓約日
半角数字
令和　年　月　日

・誓約日はスカラネット入力日としてください。

氏名（全角漢字）
姓（5文字以内）　名（5文字以内）

・外字は使用しないでください。
（例）吉→吉、髙→高

氏名（全角カナ）
姓（15文字以内）　名（15文字以内）

・氏名が長い場合は入るところまで入力してください。
・「スペース」は入力しないでください（ミドルネームは名とつなげて入力してください）。

生年月日（和暦）
半角数字
▼　年　月　日生

・元号を選択してください。
選択肢：平成/昭和

※誓約日は以後訂正することができません。

進学予定先情報・在学情報

B－あなたの進学予定先情報・在学情報

1. 進学予定先大学院

(1)あなたの進学予定先大学院名は 学生支援大学 ですね。

●はい ●いいえ

・大学院名が正しく表示されているか確認してください。

(2) あなたの進学予定先課程を選択してください。

・課程を選択してください。

・本制度対象外の課程を選択すると次の画面に進めません。再度対象者の要件を確認して下さい。

選択肢：修士・博士前期/専門職大学院(法科大学院)/専門職大学院(法科を除く)/一貫制博士/博士後期/博士医・歯・獣医・薬学(6年制学部卒)

(3)あなたの進学予定先研究科を選択してください。

・研究科を選択してください。

(4) あなたの入学予定年月を記入してください。

半角数字

西暦（4桁） 2027 年 4 月 入学予定

(5) あなたの修了（見込）予定年月を記入してください。

半角数字

西暦（4桁） 年 3 月 修了（見込）予定

・左記の年月と異なる場合は変更してください。

(6) あなたの大学院進学の目的と研究計画を記入してください。（全角400字以内）

・数式・記号含め全角文字で入力してください。

2. 在学している（在学していた）学校

(1) あなたが在学している（在学していた）学校を選択してください。

・学校を選択してください。

選択肢：大学/短期大学/高等専門学校/専修学校(専門課程)/その他

・海外の大学に在学している（在学していた）方は「その他」を選択してください。

(2)あなたは専攻科に在学しています（在学していました）か。

●専攻科 ●いいえ

(3) あなたが在学している（在学していた）学校名の読みの先頭1文字を選択してください。

・先頭1文字を選択してください。

あなたが在学している（在学していた）学校名を選択してください。

・学校名を選択してください。

(4) あなたが在学している（在学していた）学校の学籍（学生証）番号を記入してください。

半角英数字記号

・半角英数字や半角ハイフン(-)以外の文字が使われている場合、学校の指示に従ってください。

(5) あなたが在学している（在学していた）学部（科）・研究科を選択してください。

・研究科を選択してください。

・選択肢として、上記(3)に入力した学校の学部（科）・研究科が表示されます。

(6) あなたが在学している（在学していた）学校に入学した年月を記入してください。

半角数字

西暦（4桁） 年 月

(7) あなたが在学している（在学していた）学校の卒業（予定）年月を記入してください。

半角数字

西暦（4桁） 年 月 卒業（予定）

(8) あなたは現在給付奨学金を受給していますか。

※第Ⅳ区分理工農や多子世帯のため、給付奨学金が「0円」となっている方は、「はい」を選択してください。

2.(8)、2.(9)でどちらも「いいえ」となる方は対象外です。対象要件を確認して下さい。

●はい ●いいえ

2.（8）支給額が「0円」であっても給付奨学生の身分を持っている方は「はい」を選択してくださ

「はい」と答えた人は、給付奨学生番号を入力してください。

給付奨学生番号 （例：52304999999）

・上3桁、中2桁、下6桁に分けて記入してください。

(9) あなたは住民税非課税世帯（市区町村民税の所得割額が「0円」）ですか。

または、修学支援新制度の授業料減免のみを利用していますか。

●はい ●いいえ

・上の質問で「はい」を選択すると活性化します。

選択肢：01/02/04/08/09

(注)給付奨学生は「いいえ」を選択してください

住民税非課税世帯（市区町村民税の所得割額が「0円」）でも、給付奨学生であれば「いいえ」を選択してください。

※送信前に再度入力内容に間違いがないか確認してください。

※入力完了後に表示される受付番号は、表面の「受付番号メモ欄」に転記してください。

修士課程等における日本学生支援機構奨学金の返還免除内定候補者　　申請書

学籍番号 （学外の方は受験番号）		氏名		整理番号	（学生入力不要）

1　進学予定の修士課程等が該当する方に「○」を入力してください。両方に該当する場合も、自身がより該当すると思う方を選択してください。	
	科学技術イノベーション創出に寄与する分野（情報・ＡＩ、量子、マテリアル等）
	大学の強みや地域の強み等を生かした分野

令和３年４月１日に施行された「科学技術・イノベーション基本法」において、これまで科学技術の規定から除外されていた人文・社会科学の分野も、同法の改正により科学技術の範囲に位置付けられており、情報・ＡＩ、量子、マテリアル等の分野と連携しているような分野であれば、人文・社会科学の分野であっても「科学技術イノベーション創出に寄与する分野（情報・ＡＩ、量子、マテリアル等)」を選択することができます。

（参考）科学技術・イノベーション基本法　第３条第２項
　科学技術・イノベーション創出の振興に当たっては、広範な分野における各分野の特性を踏まえた均衡のとれた研究開発能力の涵養、学際的又は総合的な研究開発の推進、基礎研究、応用研究及び開発研究の調和のとれた発展、学術研究及び学術研究以外の研究の均衡のとれた推進並びに国の試験研究機関、研究開発法人、大学等、民間事業者その他の関係者の国内外にわたる有機的な連携について配慮されなければならず、また、自然科学と人文科学との相互の関わり合いが科学技術の進歩及びイノベーションの創出にとって重要であることに鑑み、両者の調和のとれた発展について留意されなければならない。

---

2 ～ 4の審査の観点は以下のとおりです。参考にしてください。

入力内容	審査の観点
2　学士課程（学部）の学習・研究活動において努力したこと、成し遂げたこと	・内容が具体的で明確であるか ・学士課程（学部）の学習・研究活動において努力したこと、成し遂げたことが優れているか
3　修士課程入学後のビジョン（学びを希望する理由・研究計画・学業以外）	・学びを希望する理由が具体的で明確であるか ・研究計画が具体的で明確であるか、また優れているか ・学業以外のビジョンが具体的で明確であるか
4　修士課程修了後のキャリアイメージ及び大学院で学んだことをどのように社会に還元していきたいか	・大学院修了後のキャリアが具体的にイメージできているか ・大学院修了後のキャリアイメージが修士課程において学びを希望する理由や研究計画等との整合性があるか ・学んだことを社会に還元することが具体的にイメージできているか

2　学士課程（学部）の学習・研究活動において努力したこと、成し遂げたことを 1000 字程度で記載してください。

なお、論文掲載や学会発表等の業績がある場合には次ページ「業績一覧」に当該業績を記載するとともに、その概要等を示す資料を提出してください。

※必ず 1 ページに収まるように作成し、フォントは変更しないでください。
※1 ページに収まるのであれば図表を挿入しても構いません。
※この文章は作成時、削除してください。

業績一覧表

項目	業績	資料 No.
研究論文 学会発表		No. 1
研究論文 学会発表		No.2
研究論文 学会発表		No.3
研究論文 学会発表		No.4
研究論文 学会発表		No.5

【業績一覧表 作成方法】

・以下、記入例に従い作成してください

記入例	業績	資料 No.
研究論文	①本人氏名、共著者名、②論文名、③学術雑誌名（該当頁）、④発行日（西暦） ※「本人氏名」にアンダーラインを付してください。 ※論文作成に最も貢献した者である場合にはその旨を記載してください。	No.X
学会発表	①本人氏名、共同発表者名、②題目　③会議名、④主催者名、⑤発表日（西暦）、⑥ポスター賞受賞等 ※「本人氏名」にアンダーラインを付してください。 ※学会発表に最も貢献した者である場合にはその旨を記載してください。	No.X

・提出する根拠資料の右上に業績一覧表の右端に記載の「資料 No.」を記載してください。

・提出する根拠資料が複数ある場合、「資料 No.」ごとに PDF にするのではなく、すべてまとめて一つの PDF にしてください。その際、「資料 No.」順に並ぶようにしてください。

・「研究論文」の根拠資料は論文全体のコピーではなく、論文の概要が確認できるものを提出してください。ただし、「著者名」、「論文名」、「学術雑誌名」が確認できるものとしてください。

・「学会発表」の根拠資料は発表内容全体のコピーではなく、発表内容の概要が確認できるものを提出してください。ただし、「発表者名」、「発表題目」、「会議名」が確認できるものとしてください。

・自身が「共著者」、「共同発表者」であるものを含めて構いません。

・研究論文／学会発表以外の内容を記載したい場合は「研究論文／学会発表」を適宜修正してください。

・上表に入りきらない場合はこの【業績一覧表 作成方法】を削除して構いません。

3　修士課程入学後のビジョン（学びを希望する理由・研究計画・学業以外等）を 1000 字程度で記載してください。

※必ず 1 ページに収まるように作成し、フォントは変更しないでください。

※1 ページに収まるのであれば図表を挿入しても構いません。

※この文章は作成時、削除してください。

4　修士課程修了後のキャリアイメージ及び大学院で学んだことをどのように社会に還元していきたいかを 500 字程度で記載してください。
※必ず 1 ページに収まるように作成し、フォントは変更しないでください。 ※1 ページに収まるのであれば図表を挿入しても構いません。 ※この文章は作成時、削除してください。